

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. アドミッションポリシーに基づいた選抜法の維持と質的評価を実施する。	→アドミッションポリシーに基づいた選抜法評価の検討回数。	B	B			
2. 多岐にわたる選抜方法の設定と多様な資質をもった学生を受け入れる。	→多様な資質に富む学生(各種入試で入学した学生)の割合。それらの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数。	A	A			
3. 各種入試の公正さや適切さを評価する。	→入試制度検討委員会内での検討件数。	B	B			
4. 入学後の追跡調査の体制をつくる。	→入学後の成績、GPAの数値。	B	B			
			☆			
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目5.0.1	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
	(方針の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 方針を設定している <input type="radio"/> 方針は設定していない
	(明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(受け入れ方針) 受け入れ方針を明確化し、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行う。また、入学者選抜について定期的に検証する。 (説明) 人間福祉学部の理念や教育プログラムにふさわしい生徒を確保するためにアドミッションポリシーを定め、その観点から学生確保を目指し、学生の受け入れ方針について検討している。アドミッションポリシーの明示は学部ホームページ、入試要項などを通して行っている。
小項目5.0.2	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。 (説明) 各種入試ごとに委員会を設け、厳正なる審査を通し入学者を選抜することで、多様な資質を持った学生を受け入れている。さらに各種入試で入学した学生の割合、それらの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数についても適切に検討している。
小項目5.0.3	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。 (説明) 入試制度検討委員会を設置し、検討を重ねることで、公正かつ適切に入学者選抜について措置している。
小項目5.0.4	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。 (検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない (説明) 入試制度検討委員会において定期的に検証している。
その他	

《評価指標データ》

(特定指標データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【人間福祉学部】		単位	2007	2008	2009	2010	2011	備考
指標1	入学定員	名	/	300	300	300	300	
指標2	志願者総数	人	/	5,088	2,633	2,480	2,623	
指標3	合格者数	人	/	713	701	707	665	
指標4	入学者数	人	/	315	313	350	327	
指標5	志願者倍率	倍	/	17.0	8.8	8.3	8.7	志願者÷入学定員
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	倍	/	1.05	1.04	1.17	1.09	入学者数÷入学定員
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	%	/	40.6%	47.0%	43.7%	40.4%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
指標8	収容定員	名	/	300	600	900	1,200	
指標9	在籍学生数	人	/	315	626	977	1,305	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	%	/	105.0%	104.3%	108.6%	108.8%	在籍学生数÷収容定員
指標11	編入学生数	人	/	(0)	(0)	(7)	(15)	編入学定員がない学部でも、編入学生がいれば記入する。※その場合は()で記入
指標12	編入学定員	名	/	-	-	-	-	
指標13	編入学定員に対する編入学生数比率	%	/	-	-	-	-	
指標14	学部・学科ごとの退学者数	人	/	2	4	6	/	

※指標11…編入学定員を持たない学部の編入学生数は()で記入

(その他の指標データ)
 入試形態別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数と割合【大学基礎データ】
 地域別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数と割合
 科目等履修者の入学者数
 聴講生の入学者数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎**効果が上がっている事項** ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】**効果が上がっている事項** 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	各種入試ごとに委員会を設け審査することで、多様な資質を持った学生が入学してきている。また、入学定員に対する入学者数の比率も適切な範囲内におさめることができる。
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

【次年度に向けた方策(1)】**伸長させるための方策** 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎**改善すべき事項** ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】**改善すべき事項** 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

【次年度に向けた方策(2)】**改善方策** 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
☆ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎**自由記述**

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

- 志願者倍率は最近3年間は8倍台で安定しています。
- 入試方法の多様化が進められた結果、一般入試入学者比率は約40%にまで低下しています。今後は、追跡調査等を活用した分析により、その是非を検討することが求められます。

【学内委員】

- 小項目5.0.1の「（受け入れ方針）受け入れ方針を明確化し、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行う。」は、2010年度と全く同じ文章です。この点に関する2010年度の学内委員の指摘同様、この部分は「方針そのものを記載」することが期待されます。また、小項目5.0.3も2010年度と全く同じ文章であり、2010年度の学内委員の指摘同様、この部分は「もう少し詳しく現状説明をされる」ことが期待されます。さらに、小項目5.0.2も、「各種入試ごとに委員会を設け、厳正なる審査を通し入学者を選抜することで、多様な資質を持った学生を受け入れている。」というだけでなく、評価Aにふさわしいもう少し詳しい説明が期待されます。
- 小項目5.0.1の（受け入れ方針）は受け入れ方針そのものを記載してください。その上で、（説明）に説明をお願いします。なお、現在の説明ではアドミッション・ポリシーと学生の受け入れ方針が違うような印象です。
- 小項目5.0.2、5.0.3は要素や大学基準協会の留意すべき事項を参照にした、もう少し詳しい説明が求められます。また、評価指標データを利用した記述も期待されます。

- 昨年度の次のコメントは本年度もそのままコメントとします。

- ・小項目5.0.1の現状説明における（方針）は、方針そのものを記載してください。
- ・自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のこととわかる必要があります。そのためにも、小項目によっては（5.0.3など）もう少し詳しく現状説明されることを希望します。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目5.0.1

基盤評価：「理念・目的、教育目標を踏まえ、求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにした学生の受け入れ方針を、学部・研究科ごとに定めていること」「公的な刊行物、ホームページ等によって、学生の受け入れ方針を、受験生を含む社会一般に公表していること」

○小項目5.0.2

基盤評価：「学生募集、入学者選抜の方法が、受験生に対して公正な機会を保障し、かつ大学教育を受けるための能力・適性等を適切に判定するものであること」

○小項目5.0.3

基盤評価：「【学士】学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である（※）」

※【定員超過の場合の提言指針】

《実験・実習を伴う分野(心理学、社会福祉学に関する分野を含む)》

1.20以上：努力課題

1.25以上：改善勧告

《医学・歯学》

1.00以上：努力課題

1.05以上：改善勧告

《上記以外の分野》

1.25以上：努力課題

1.30以上：改善勧告

《未完成学部》

いわゆる「届出設置」の場合は、前身となる学科等の状況を勘案するなど、条件に応じて判断する。

※【定員未充足の場合の提言指針】

《全て》

0.9未満：努力課題

0.8未満：改善勧告

《未完成学部》

定員超過の場合の提言指針に準じる。

「【学士】学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である（※）」

※【定員超過の場合の提言指針】

入学定員に対する入学者数比率に関する提言指針（上記）に準ずる

（なお、定員の超過が留年者数の増加によるものである場合は、その事情を考慮する）

※【定員未充足の場合の提言指針】

入学定員に対する入学者数比率に関する提言指針（上記）に準ずる。

○小項目5.0.3

基盤評価：「【学士】学部における編入学定員に対する在籍学生数比率が1.00である（※）」

※【定員超過の場合の提言指針】

《未完成学部を除く全て》

1.30以上：努力課題

《未完成学部》

1.30以上：努力課題としては提言しない。ただし、概評において指摘する。

※【定員未充足の場合の提言指針】

《未完成学部を除く全て》

0.7未満：努力課題

《未完成学部》

0.7未満：努力課題としては提言しない。ただし、概評において指摘する。

「【修士・博士・専門職学位課程】部局化された大学院研究科や独立大学院などにおいて、在籍学生数比率が1.00である」

○小項目5.0.4

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、学生の受け入れの適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

○小項目5.0.1～5.0.3

達成度評価：「学生募集、選抜の実施状況等は、公正・適切なものである。（評価に当たっては、当該大学の説明・証明から、下記のこと

- ・学生の受け入れ方針と、学生募集、選抜の方法等の整合性
- ・学生の受け入れを適切に行うための必要な体制の整備

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○小項目5.0.1（受け入れ方針）

多様な資質を持った学生を集める観点で、アドミッションポリシーに応じて多様化した選抜方法を導入する。

○小項目5.0.1（説明）

多様な資質を持った学生を集めるために、一般入試、大学入試センター試験を利用する入試、AO入試、各種推薦入試（指定校推薦・協定校推薦・関西学院高等部推薦）、スポーツ能力に優れた者を対象とした入学試験などを実施している。

○小項目5.0.2（説明）

★ 各種入試ごとに委員会を設け、厳正なる審査を通し入学者を選抜することで多様な資質を持った学生を受け入れている。2011年度入学生の入試形態別の割合は、AO入試13.5%、スポーツ能力に優れた者を対象とした入試12.8%、センター入試2.8%、一般入試33.3%、各種推薦入試30.6%となっている。

○小項目5.0.3（説明）

入試制度検討委員会を設置し検討を重ねることで、公正かつ適切に入学者選抜について措置している。その結果、収容定員に対する在籍学生数比率は1.08となっている。同値は大学基準協会が定める努力課題を示す1.20を下回っている。